

第31回応用言語学講座公開講演会

クメール語の系列的動詞構造

A propos des constructions à verbes en série en khmer

Denis Paillard (ドゥニ・パイヤール) 氏
(フランス国立科学研究所 (CNRS) / パリ第7大学)

◆ 講演内容 ◆

クメール語は言語類型論的には「孤立語」に属するとされ、様々な事象を分析的に表すことを特徴としており、動詞同士や動詞と接頭語・接尾語の結合による新しい動詞の生産が盛んに行われる言語です。本講演の第一部では、フランスの著名な言語学者であるドゥニ・パイヤール氏が、ご自身の提唱される系列的動詞構造(CVS)という概念に基づいて、クメール語に見られる動詞の複合現象についてご説明くださいます。複合動詞における動詞の結合にはどのような規則性や制約が見られるか、単独動詞の統語的・意味的性質は複合動詞にどのように受け継がれるか、といった日本語や他の言語においても議論の対象となる重要な問題について、本講演は対照研究の見地から有益な示唆を与えてくれるでしょう。また、第二部では、同氏をご自身のクメール語やアジア諸語の研究について、より広い見地からお話くださいます。複合語や複合動詞に関心をお持ちの、多くの方のご来場をお待ちいたします。

ドゥニ・パイヤール氏は、バンヴェニストやキュリオリの系譜に連なるフランスの発話理論の第一人者。*Énonciation et détermination en russe contemporain* (『現代ロシア語における発話と限定』)(1984) *Grammaire des prépositions* (『前置詞の文法』)(2007)など著書多数。

日時: 2015年4月24日(金)

第一部: 午前8時45分~10時15分 第二部: 午後12時10分~12時55分

場所: 名古屋大学東山キャンパス文系総合館6階624室

(ファカルティラウンジ)

交通案内: 地下鉄名城線 名古屋大学駅①番出口徒歩5分

入場無料・来聴歓迎 (講演はフランス語 日本語の通訳付き)

問合せ先: 奥田智樹 (okuda@lang.nagoya-u.ac.jp)